

令和7年度全国高等学校総合体育大会の準備状況について (令和7年3月末時点)

1 要旨

令和7年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）に向けたこれまでの準備状況や成果、大会当年度の取組予定などについて報告する。

開け未来の扉 中国総体 2025

○大会日程：令和7年（2025年）7月23日～8月20日

（総合開会式は、7月24日広島県立総合体育館（グリーンアリーナ）において開催）

○広島県内の開催競技種目：陸上競技、水泳（競泳・飛込）、ローイング、剣道、テニス、登山、少林寺拳法（7競技（8種目））

○広島県内の会場地：広島市、福山市、尾道市、安芸太田町

○主催：（公財）全国高等学校体育連盟、開催地都道府県及び教育委員会、関係中央競技団体、会場地市町及び教育委員会

2 これまでの取組と準備状況・成果（令和6年度後半）

項目	主な取組	準備状況・成果
競技種目別大会	- 大会実施要項の作成。 - 役員及び補助員協力に関する関係校への依頼や調整。	市町等実行委員会や県内の高校等と連携し、安全・安心な大会となるよう準備を進めている。
総合開会式	- 公開演技に向けた、学校別練習会や合同練習会の実施。 - 高校生アナウンサー及び高校生手話通訳研修の実施。 - 総合開会式運営計画の作成。 - 式典前映像の制作	高校生が主体となり企画・立案し、専門家などのアドバイスをもらいながら、協働して総合開会式の準備を進めている。
高校生による広報活動 主催イベントの様子↓ 	- 広島県高校生活動推進委員会による主催イベントの開催。 広島駅周辺で「2025 インターハイ応援フェスタ(12/14)」を開催 - 県内イベント等での広報活動。 （ふくやまマラソン、広島みなとフェスタ ほか） - SNSによる情報発信。 （Instagram、TikTok、X、YouTube）	【主催イベントについて】 1,600名を超える観客が来場し、総合開会式や県内競技種目別大会の日程・会場を直接広報することができた。 - 県内外の高校生のステージ発表や地元アーティスト（HIPPIY氏）のLIVEなどを通じ、駅の通行者なども含めた、多くの人々に大会の機運醸成を図ることができた。 - イベント前後にSNSから積極的に発信することにより、当日イベントを見ていない幅広い人々にも、大会の情報や高校生の活躍する姿を伝えることができた。

3 広島県高校生活動推進委員会の取組と成果

(1) 大会準備活動を通じた「主体的な学び」の育成

実行委員会が掲げる「広島県開催基本構想」では、インターハイの準備活動を「学びの変革」を実践する場（リアルな体験を実践する場）とし、高校生自身が県実行委員会の一員となり、広島県高校生活動推進委員（以下、「推進委員」という。）として権限と責任をもってプロジェクトを進行することとしている。

これに基づき、高校生活動の目的を「創造力」「協働力」「学び続ける力」の育成や「デジタルの活用」としている。

(2) 総会における推進委員の活動や交流

- ・第4回総会でも「高校生による高校生のための大会」のコンセプトのもと、前回に引き続き、議事や司会を高校生が主体となって進行した。
- ・県内開催7競技8種目の選手たちを迎え、高校生の間でインタビューなどを実施した（競技を始めたきっかけ・競技の魅力・得意なプレーなど）。

〈総会の様子↓〉



推進委員による議事進行や司会



推進委員から高校生選手へのインタビュー（ローイングほか）

(3) 大会のおもてなしと機運醸成に向けた推進委員の活動や交流

総会以外の様々なインターハイの準備活動においても、専門高校の高校生や様々な企業・団体など、多様な他者と協働して活動している。

【推進委員（45名）の具体的な活動例】

- ＞専門家などの助言を受け、創意工夫しながら、SNSにより積極的に情報を発信。
- ＞企業による映像制作研修及び式典前映像や広報映像の制作（企画・撮影・編集補助）。
- ＞工業や農業高校の高校生との交流、教員からの助言を通じ、総合開会式の会場装飾を製作。
- ＞高等学校文化連盟放送専門部や外部講師によるアナウンス技術の向上。
- ＞広島県ろうあ連盟の研修・特別支援学校との交流による高校生手話通訳の養成。

(4) 推進委員による活動の振り返り

推進委員へこれまでの活動を踏まえたアンケートを行ったところ、高校生自身が責任と権限を持ってプロジェクトを遂行する中で、主体的な学びを一步ずつ育んできたことがわかった（推進委員全体の8割程度から肯定的な回答があった）。

【推進委員からのアンケート回答（「本活動で目指す生徒の姿」／ 高校生の振り返り）】

▶ 創造力

「新たな企画開発、枠にとらわれない柔軟な発想、既存のアイデアに付加価値を付ける等」

- ・ターゲットに応じた素材を考え、編集方法や展開を意識しながら、多くの専門家等との意見交換により、既存のものにとらわれない新たな視点を反映させたアイデアを作り出した。

▶ 協働力

「互いに意見を出し合い思考を深める、異なるスキルを組み合わせ大きな成果を上げる」

- ・互いの長所を生かして活動し、良いところを反映させた案を捻出できるようになった。

▶ 学び続ける力

「情報収集、トライ＆エラー、研修の実施による継続的に学習するマインド育成」

- ・SNSの動画視聴数が伸びるよう、流行を調べ、投稿を工夫し、編集技術向上やデータ収集に励んだ。

▶ デジタル技術

「オンラインミーティング、動画編集、広報イラスト制作、SNS情報発信等」

- ・オンライン上で会議や資料作成を行うとともに、動画編集や資料作成等の各種ツールを活用しながら、SNSでの情報発信などを行った。

4 大会当年度の取組予定（令和7年4月～7月）

（これまでの取組と今後の予定に関する一覧表は別紙1のとおり）

(1) 競技種目別大会の準備（総勢：延べ約14,600名）

- ・役員及び補助員の決定、大会に向けた養成。
- ・県高体連や会場地市町と連携した大会準備（大会プログラム完成等）。

(2) 総合開会式の準備（総勢：約800名）

別紙2のとおり、4月25日から一般観覧者募集を開始予定。

- ・式典音楽、公開演技に向けた合同練習会（毎月1回程度）。
- ・高校生アナウンサー及び高校生手話通訳研修、放送原稿等完成。
- ・式典前映像の完成
- ・直前リハーサル（7月）
- ・総合開会式運営事業者と連携した当日運営や警備等の準備。

(3) 高校生による大会広報活動

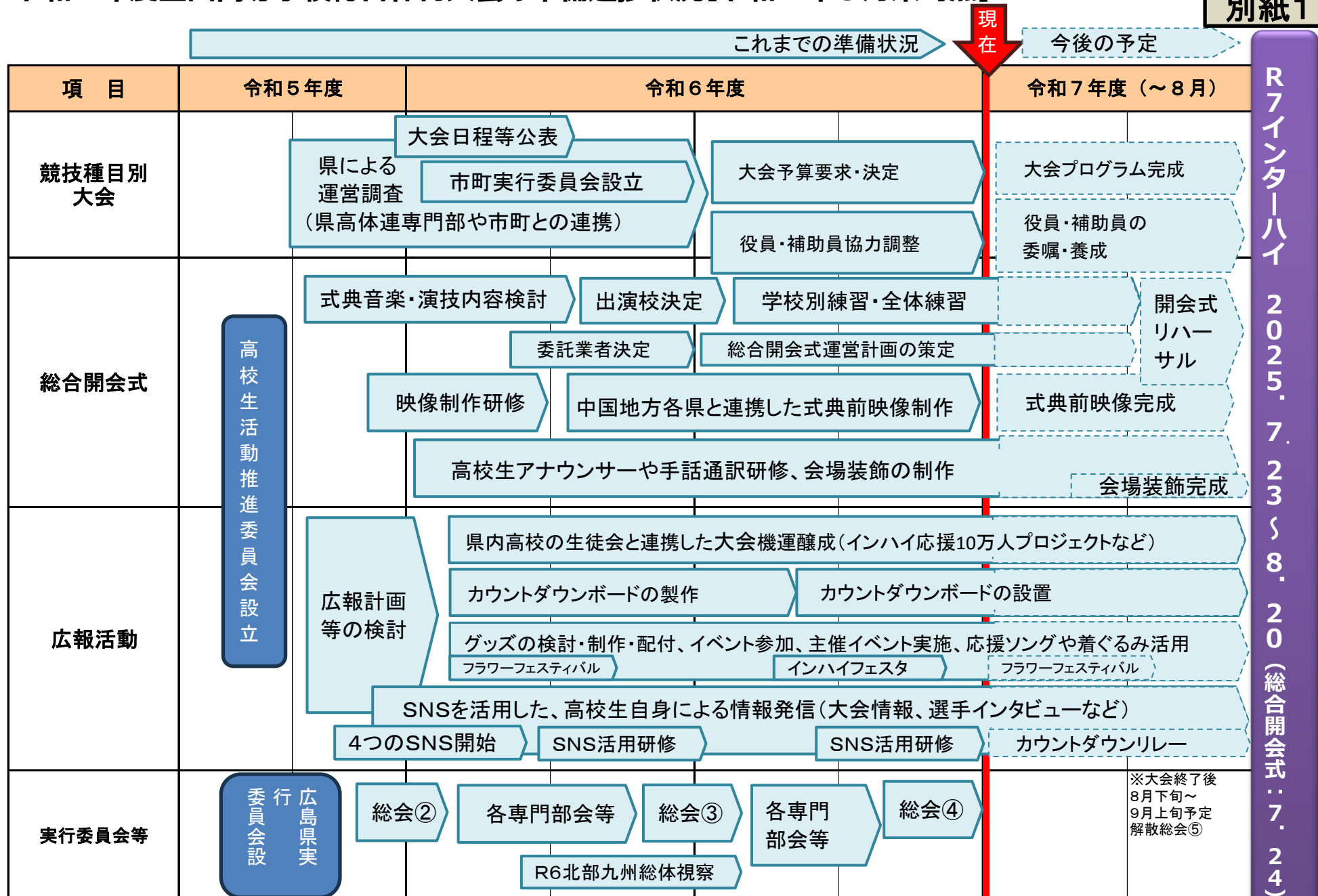
- ・2025ひろしまフラワーフェスティバルにおける広報活動（5月）
→ブース出展、花の総合パレード、ストリート陸上、HIPPIY氏とのステージ共演などを予定。
- ・その他県内イベントにおける広報活動
→尾道みなと祭（4月）、マツダスタジアム（7月）ほか。
- ・県内の高等学校等の生徒会と連携した大会の機運醸成。
例：応援缶バッジ装着、SNSカウントダウンリレーなど
- ・インターハイ応援ソング「ぼくらのスタートライン」の活用。
- ・生徒考案キャラクター「ひろしばけん」の活用。
- ・SNSを中心とした更なる大会PR（高校生選手の登場など）。



2025 インターハイ広島県
マスコットキャラクター
“ひろしばけん”

令和7年度全国高等学校総合体育大会の準備進捗状況【令和7年3月末時点】

別紙1



R7インターハイ 2025.7.23～8.20（総合開会式…7.24）

57年越しの感動を体感せよ

1968年以来広島県で開催

7/24 木

広島県立総合体育館

式典

選手団先導

如水館高等学校

吹奏楽

広島翔洋高等学校

合唱

広島市立基町高等学校

広島市立舟入高等学校

崇徳高等学校

ノートルダム清心高等学校

呉港高等学校

アナウンス

広島県内高等学校放送部

高校生手話通訳

広島県内高校生

公開演技

和太鼓

山陽高等学校

ダンス・演技

広島県立広島観音高等学校

広島県立五日市高等学校

広島県立総合技術高等学校

広島市立基町高等学校

如水館高等学校

チアリーディング

如水館高等学校

会場装飾

広島県立広島工業高等学校

広島県立宮島工業高等学校

広島県立西条農業高等学校

広島県立庄原実業高等学校

広島県高校生活動推進委員会

デザイン / 広島県高校生活動推進委員会

総合開会式

令和七年度全国高等学校総合体育大会

こい、インターハイ。

一般観覧者募集

詳細は
大会HPにて<https://www.koukousutai.com/2025/sutai/news/post.php?xc=0139>

申込区分

学校単位

個人

(5名未満)

団体

(5名以上)

4/25
募集開始

学校ごとに応募

5/30✕

個人・団体ごとに
個別応募

6/10✕

7月上旬
入場用ID発送

令和7年度全国高等学校総合体育大会広島県実行委員会事務局 広島市中区中町7-41 広島三栄ビル6階 / 082-247-0192